

別紙1 拠助対象施設等の概要

拠助対象事業者名 ○○市

ブルダウンで該当するものを選択してください。

拠助対象施設等の情報			
拠助対象施設等の名称	○○案内所	施設の種別	外国人観光案内所
所在地(住所)	○○県○○市○○町○○番地		
設置主体	○○市	運営主体	○○市
開設日	平成○年○月○日	職員数	○○人
拠助対象施設概要 訪日外国人が魅力に感じるポイントを記載してください	○○観光案内所は、平成XX年に○○市の観光施設が集まる△△地区に開設した、外国人への観光案内にも対応できる観光案内所であり、○○市を訪れる多くの訪日外国人観光客に利用されている。		
拠助対象施設等における旅行者の年間総入込数	国内旅行者数	訪日外国人旅行者数	総計
	約 10,000 人/年	約 3,000 人/年	約 13,000 人/年
入込数の算出方法	○○観光案内所における利用者人数集計による。		
立地要件 (優先採択の対象となる計画等の策定有無) ※該当の場合、計画をご提出ください	「非常時における外国人旅行者の安全・安心の確保に向けた指針」に基づき観光危機管理計画を策定した地域の事業		
	「地域防災計画」等において訪日外国人旅行者の避難計画等を定めた地域の事業		
	○ 日本政府観光局により、上位のカテゴリーに認定されている又は認定の見込みがある観光案内所を補助対象とする事業		
その他の要件 (必ずチェックください。該当しない場合は拠助対象外となります。)	○ i) 災害等の発生が拠助対象施設等の業務時間内である場合には、必要な安全の確認等を行った上で、可能な限り業務を継続する。		
	○ ii) 災害等の発生が拠助対象施設等の業務時間外である場合には、公共交通機関の運行状況や当該施設等が所在する地域における観光の状況に照らして、訪日外国人旅行者による相談が見込まれる場合には、必要な安全の確認等を行った上で、可能な限り速やかに業務を開始する。		
	○ iii) i)又は ii)の後は、少なくとも通常の業務時間内は業務を行うこととし、その後も訪日外国人旅行者による問い合わせが予見される場合は、可能な限り業務継続に努める。		
	○ iv) 災害時において、訪日外国人旅行者の求めに応じて、災害情報、公共交通機関の運行状況、宿泊や避難に関する情報を案内するとともに、情報端末の充電、トイレ利用、避難所利用等のサービスを無料で提供する。また、これらの提供サービスの内容については、多言語で分かりやすく表示しておく。		
	○ v) 災害時において、多言語案内・翻訳用タブレット端末又は多言語案内・翻訳システム機器等の活用によることも含め、英語及びその他の外国語による対応も可能である。		
	○ vi) 広く開放しているトイレを対象とし、商業施設、劇場、レジャー施設、スポーツ施設、遊技場、その他これらに類する営利目的の施設内及び公共空間であっても利用料を收受しなければ入場できない箇所に所在するトイレ及び地域住民の利用が主たるトイレは除くものとする。 対象となるトイレの所在をトイレの周囲やトイレ外壁等に多言語又はピクトグラムにより表示すること。		
		国	無
他の補助制度等の活用の有無 (活用している・予定がある場合は具体的に記入下さい。)※1	都道府県	無	
	その他	無	

※1 他の補助金等と拠助対象が重ならないよう、施設の位置づけを調整する等の対応が必要となる場合があります。

「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」等をご参考の上、他の補助制度等の利用状況を記入下さい。

(詳細は応募要領の8~9ページ「4. 応募手続きの概要」の「(5)注意事項」をご覧ください。)

事業実施主体(拠助対象事業者)				
事業実施主体(団体)名	○○市			
法人番号 (個人事業主の方は記載不要です。)	0000000000000000			
区分	地方公共団体			
住所	○○県○○市○○町○○番地			
担当者名	産業振興部 観光振興室 主任 観光 太郎			
連絡先(電話番号・FAX番号)	電話	(△△△)-△△△-△△△	FAX	(△△△)-△△△-△△△
連絡先(メールアドレス)	△△@△△△.△△△.△△			